

令和8年

秋
号

萬徳院 釈迦寺

——— 令和8年10月1日 第108号 ———

敬愛

けいあい

発行：萬徳院 釈迦寺 千葉県船橋市高根町 2233-3

☎ 0120-646-100

最新のお知らせは：<https://www.syakaji.jp>



一隅を照す、これすなわち国宝なり

国宝とは、文化財としての仏像・仏画、墨跡等をいうのではなく、国の宝といふべき有用な人材をいいます。自らを律し、正しく行い、正しく語ることでできる人物とは、自らに信念があつてのことなのでしょう。それは道心（菩提心）であり、日ごろから自分のことを忘れ、ひとたび必要となれば、他者のために、周りのお方がよろこび、幸せとなるために尽くす菩薩の用心をいいます。

（※菩薩の用心・・・菩薩の用心は皆、慈悲を以て本（基本）とし、利他を以て先（優先）とす。『秘蔵宝鑑』より）

一人ひとりが自身の置かれている場所、立場において、他者に対して無限の責任をもち、自分らしく輝く。自分のことだけでなく、周りの人や社会の幸せを願って生きること。その精神や行いは、平和で幸せな世の中を築いていく大きな光になっていくのです。

悪事を己に向え、好事を他に与え、己を忘れて他を利するは、慈悲の極みなり。

天台宗の開祖・最澄伝教大師『山家学生式』より

大法要に散らす「散華」について

お盆やお彼岸など寺の大きな法会にご参列された時、僧侶が入堂しながら何か紙のような物を撒いているのを不思議に思われたことはないでしょうか。写真の中で僧侶が手に持っているお盆のようなものは「華籠」といいます。華籠には三色の紐が垂れていて、先に重りとなる「鎖」が付いています。この中に「散華」が入っているのです。「散華は仏・菩薩をほめたたえる時に天空から花が降るという教説に由来するもので、花を散布して仏に供養すること。(中略) 花の芳香によって悪い鬼神を退却させ、道場を清めて仏を請来するためとされます。」(『岩波仏教辞典第二版』より)

生花ではなく花の形をした紙を散らして、仏さまを道場(本堂)にお招きしているのです。その散華を入れておく籠が華籠なのです。

僧侶が散らした散華はお持ち帰り出来ますので、幸運にも拾われた方はお仏壇にお供えしましょう。(納骨堂をお持ちの方は納骨壇の中に入れても良いと思います)

散華はラグビーボールのような形をしていますので、投げた後はひらひらと花びらのように不規則な動きで落下していきます。僧侶も気を付けていますが、もしお身体に当たっても怒らないでください。きっとご利益があることでしょう。



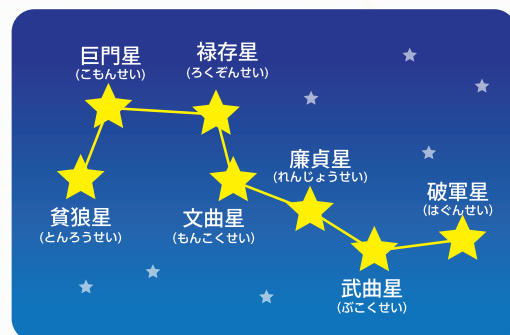
華籠を持つ僧侶



散華

『星供』と運勢について

「修正会・厄除け開運祈願会」の年齢早見表にある来年の運勢は、星供(星供養)によるものです。星供は星まつりともよばれ、密教で古くから行われて来ました。天の中心にある北斗七星を拝みます。北斗七星の七つの星にはそれぞれの名前が付けられています。(図参照)



「本命星」と「元辰星」は人が生まれたときに決まり、生涯かわりません。「当年星」は毎年変わり、その人の今年の運勢を表わします。星供は北斗七星と当年星を供養し、皆さまの厄を払い、幸せを祈るのです。

	守り本尊	本命星	元辰星
子(ね)	千手観音	貪狼(とんろう)星	武曲(ぶこく)星
丑(うし)	虚空蔵菩薩	巨門(こもん)星	破軍(はぐん)星
寅(とら)	虚空蔵菩薩	禄存(ろくぞん)星	文曲(もんこく)星
卯(う)	文殊菩薩	文曲(もんこく)星	廉貞(れんじょう)星
辰(たつ)	普賢菩薩	廉貞(れんじょう)星	巨門(こもん)星
巳(み)	普賢菩薩	武曲(ぶこく)星	禄存(ろくぞん)星
午(うま)	勢至菩薩	破軍(はぐん)星	巨門(こもん)星
未(ひつじ)	大日如来	武曲(ぶこく)星	貪狼(とんろう)星
申(さる)	大日如来	廉貞(れんじょう)星	文曲(もんこく)星
酉(とり)	不動明王	文曲(もんこく)星	禄存(ろくぞん)星
戌(いぬ)	阿弥陀如来	禄存(ろくぞん)星	武曲(ぶこく)星
亥(い)	阿弥陀如来	巨門(こもん)星	廉貞(れんじょう)星





行事案内(10月～来年1月)



12月8日(火)

じょう どう え

成道会(お釈迦さまがお悟りを開かれた日)

※僧侶のみでご供養いたします。

令和9年1月1日(金)

しゅ しょう え やく よ かい うん き がん え

修正会・厄除け開運祈願会 (元旦のご祈願)

年の初めにご祈願する『修正会・厄除け開運祈願会』は、皆様にもご参加いただけます。詳しくは別紙のお申込書をご覧ください。

※厄除けのお札は正月のご祈禱の後に、順次郵送させていただきます。



紙の御札



木の御札



特別大札



船橋中央	10:00		
小室寺院	10:00	護摩	14:00
稲毛寺院	10:00		



定例行事(10月～来年1月)



月例法要 (下記日程の日曜日、午前9時から開式)

小室寺院 10月18日／11月15日／12月20日／令和9年1月17日

稲毛寺院 10月11日／11月8日／12月13日／令和9年1月10日

月例法要では、先祖代々や水子供養、月命日などのご供養を月に一度行っております。各寺院に直接お申し込みください。一霊位5,000円



厄除けお札のご利益の秘密



来年令和9年は丁未(ひのとひつじ)の年です。

ご自身の生まれ年の干支が回って来る方もいらっしゃるでしょう。「修正会・厄除け開運祈願会」申し込み用紙の早見表(数え年)をご覧ください。来年の運勢もご参考にされてみてください。

釈迦寺の厄除け開運お札は、一度の祈願で行っているのではなく、何度も日を変えて祈願されていることをご存知でしょうか。最初の一回目は12月22日の冬至の日。星供にて木札・紙札を開眼します。次は

12月28日のお不動様の日。小室護摩堂にて定例護摩と同時に、お札をお不動様のお力で祈願します。最後は正月の護摩の炎にくぐらせて結願です。このように釈迦寺の厄除け開運お札は何度も祈禱を繰り返したご利益のあるものなのです。来年の表で運勢が悪く出ていても跳ね返すパワーのある釈迦寺の厄除けのお札をお申し込みください。

釈迦寺僧侶 大浦弘俊

お知らせ

小室寺院 天女の舞う「華厳堂」のご紹介

令和6年に完成した小室寺院の「華厳堂」は、入ってすぐに天女の舞う美しい絵でお迎えます。石畳風の床をさらに進むと大日如来様のお仏像が中央に鎮座され、このお堂を守ってくださっています。このご浄土のような荘厳さを気に入ってくださり、入堂を決めてくださる方もいらっしゃると思います。「華厳堂」は納骨期間を定めない契約を基本としますが、3年、7年、13年の納骨期間を設けて価格を抑えた期限付きの納骨壇もございます。契約期間満了後は観音堂合祀に移してご供養しますので、後継者がいらっしゃらなくても安心です。6人用の「鳳凰堂」も「華厳堂」と同じくペットも入れます。明るくきれいなお堂ですので、ご見学お待ちしております。お問い合わせ、ご見学はお電話またはホームページよりお願いいたします。



小室寺院「華厳堂」

問い合わせ先

小室寺院 ☎0120-445-380



釈迦寺霊園 10月に人形供養を行ないます

船橋中央 釈迦寺霊園では、10月22日(木)に人形供養を行ないます。今まで大切にしていた人形やぬいぐるみはそのままでは捨てがたいものがあります。長く愛用していた人形は読経、撥遣(魂抜き)してご供養いたします。船橋中央大本堂で行いますので、ご参列いただき僧侶読経の中、最後のお別れをしていただけます。ご予約はお電話またはホームページにてお願いいたします。釈迦寺霊園の樹木葬「苑墓(えんぼ)」も第二期区画が好評です。樹木葬は毎年の冥加料もかかりません。しゃがまずに立ったままお線香を手向けられる新区画「陽(あかり)」もございます。お問い合わせ、ご見学はお電話またはホームページよりお願いいたします。



樹木葬「苑墓」

問い合わせ先

釈迦寺霊園 ☎0120-646-100



稲毛寺院 今年オープンの納骨堂「飛天」が好評です

今年4月に増設された稲毛寺院の納骨堂「飛天」の第一期販売は大変好評いただき、6人用は完売となりました。近年ペットと家族のように暮らしていらっしゃる方が多くなり、最後も一緒にいたいというご要望が増えて参りました。この「飛天」はペットと一緒に入れる納骨堂になっております。もしペットと一緒に考えでしたら少し大きめの4人用をお勧めいたします。室内が上下2段に分かれておりますので、上の段はご自身の為、下の壇はペットの為と、余裕を持って入堂いただけます。スタンドグラスがきれいな明るいお部屋ですので、一度ご見学をお勧めいたします。他に2人用もございます。稲毛寺院はJR稲毛駅より徒歩5分の好立地にあります。お問い合わせ、ご見学はお電話またはホームページよりお願いいたします。



稲毛寺院「飛天」

問い合わせ先

稲毛寺院 ☎0120-787-800



エンジェルペット斎場

〒274-0817 千葉県船橋市高根町2237

ご希望の葬送や火葬、お迎えなど誠意を持って対応させていただきます



エンジェルペット霊園

〒274-0817 千葉県船橋市高根町2242

愛する動物たちの安住の地として、ゆっくりおやすみいただけます



ご相談は
こちらから



0120-011-200

<受付時間 9:00 ~ 17:00>

